



2023年4月6日

各 位

会 社 名 株式会社日本色材工業研究所
代 表 者 名 代表取締役社長 土谷 康彦
(コード:4920 スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役企画・経理部長 霜田 正樹
(TEL. 03-3456-0561)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年10月5日に公表しました2023年2月期(2022年3月1日～2023年2月28日)の通期の業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年2月期通期連結業績予想数値の修正(2022年3月1日～2023年2月28日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,583	155	100	194	92.93
今回修正予想(B)	11,760	161	148	246	117.52
増減額(B-A)	176	6	47	51	
増減率(%)	1.5	3.9	47.3	26.5	
(ご参考)前期実績 (2022年2月期)	8,702	△267	△171	△122	△58.23

2. 2023年2月期通期個別業績予想数値の修正(2022年3月1日～2023年2月28日)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,533	41	155	74.33
今回修正予想(B)	8,686	153	268	128.34
増減額(B-A)	153	111	113	
増減率(%)	1.8	267.1	72.7	
(ご参考)前期実績 (2022年2月期)	6,563	△153	△102	△48.70

3. 通期業績予想の修正の理由

2023年2月期の連結会計年度におきまして、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染の波(第6波、第7波、第8波)は続きましたが、ワクチン接種の進展もあって感染は収まる傾向にあり、感染症法上の分類引き下げやマスク着用の緩和といった対策が打ち出されております。化粧品市場におきましても、引続きマスク着用の慣習化やインバウンド需要の低迷など、依然として大きな影響を受けておりますが、消費マインドは大きく改善しており、今後のマスク着用の軽減やインバウンド需要の回復などを見越して、受注に回復の動きが見られます。

当社におきましても、国内・海外の化粧品メーカーからの受注に回復の動きがあり、売上高・利益共に前回発表予想を上回る見込みとなりました。マスク着用やインバウンド需要の低迷が継続したことから、売上高の水準は新型コロナウイルス感染症の拡大前を下回って推移しており、つくば工場第3期拡張などの設備投資によって実現した生産能力を活用しきれない状況が続いておりますが、足元の受注は緩やかに回復しており、連結業績・個別業績共に売上高は前回発表の予想を上回る見込みです。また、利益面でも、引き続きつくば工場第3期拡張等により諸費用が増加、加えて原材料費や各種経費等もインフレで上昇している中ではありますが、増収に加えて各種コスト圧縮努力もあって、連結業績・単体業績共に前回発表の予想を上回り、3期ぶりの黒字を計上する見込みです。なお、当連結会計年度末の配当につきましては、従来の予想のとおり無配とさせていただきます。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上